

令和元年度 第2回公立鳥取環境大学教育研究審議会 議事要旨(案)

- 日 時 令和元年11月12日(火) 10:30～11:55
- 場 所 大会議室(本部講義棟3階)
- 出席者 江崎信芳委員、宇佐美誠委員、田中仁成委員、山本仁志委員
今井正和委員、遠藤由美子委員、小林朋道委員、矢野順治委員、横山伸也委員、
吉永郁生委員、齊藤明紀委員、張漢賢委員 [13名/15名]
- 欠席者 尾室高志委員、片木威委員、田村文男委員、

【議事】

1 前回議事要旨の確認

原案のとおり承認された。

2 審議事項

(1) 3ポリシーの改定案について

今井副学長から、3ポリシーの改定案について説明があり、様々な意見が出たが、原案について概ね承認された。

<主な意見等>

・カリキュラム・ポリシーとアドミッション・ポリシーの冒頭の文章が似ているため、本学の特徴であり、アピールするポイントである「リベラルアーツ」を入れることも検討してはどうか。

→学内で3ポリシーに公立鳥取環境大学版リベラルアーツを入れるか検討を行ってきたが、環境大学版リベラルアーツは世間一般が認識しているリベラルアーツとは異なるため、誤解が生じる懸念があり、記載をしていない。

・アドミッション・ポリシーの「英語・数学等」が「『国語』、『英語』、『数学』等」という表現に変更されているが、なぜ「国語」という言葉を出すこととなったのか。また、このことにより、入試が変わることはあるのか。

→学生が学んだことや活動の成果を表現するためには文章を書く力が必要だと感じており、文章力のある学生に入学してほしいため、明確に記載をすることとなった。入試に関してはすぐには変わらない。

・整合性の観点から、ディプロマ・ポリシーには「グローバルな視点」、アドミッション・ポリシーには「世界的な視点」という言葉が入っているが、カリキュラム・ポリシーにはないので、「グローバルな」や「世界的な」を入れたほうが首尾一貫した文章となるのではないかと。また、教育目標に関してディプロマ・ポリシーでは「応用」という言葉があるが、カリキュラム・ポリシーではそのような言葉がないため、追加することで整合性がとれるのでは。

→いただいた意見をもとに検討する。

(2) 令和2年度に戦略的かつ重点的に取り組むべき事項(案)について

事務局から、令和2年度に戦略的かつ重点的に取り組むべき事項(案)について説明があり、意見をいただいた部分は修正を行い、それ以外の部分については原案のとおり承認された。

<主な意見等>

・就職支援活動について、設置者の想いとしては県内企業への就職が本願であるため、「地元企業等への就職促進」ということを2(5)という位置ではなく、2就職支援の項目の最初に

出すなど、もっとアピールしたほうがよいのでは。また、とっとりインターンシップの活用は地元就職促進に向けたごく一部であるため、2(5)の文章について、とっとりインターンシップだけではなく、地元企業への就職促進に向けて強くアピールできる表現にしたほうがよいのではないかと。

→いただいた意見を元に修正を行う。

- ・1(12)の英語能力伸長について、TOEIC等の成績を上げることは難しいことだと思うが、どのように対策する予定か。

→具体的な内容については検討中である。副専攻の1つに英語の副専攻を検討しており、語学以外の一部の科目の授業を英語でおこなうことなどを検討している。

3 報告事項

(1) 近況報告

事務局から、入試、就職活動など大学の近況について報告があった。

(2) 公立大学法人公立鳥取環境大学平成30年度業務実績評価書について

事務局から、公立大学法人公立鳥取環境大学平成30年度業務実績評価書について報告があった。

(3) 認証評価機関の選定及び自己点検・評価の状況について

事務局から、認証評価機関の選定及び自己点検・評価の状況について報告があった。

(4) 高等教育の就学支援制度の機関要件確認について

事務局から、高等教育の就学支援制度の機関要件確認について報告があった。

(5) 令和元年度補正予算(第2回)案について

事務局から、令和元年度補正予算(第2回)案について報告があった。

(6) 令和2年度予算編成方針(案)について

事務局から、令和2年度予算編成方針(案)について報告があった。

(7) 補正予算の専決について

事務局から、補正予算の専決について報告があった。

(8) 公立大学法人公立鳥取環境大学令和元年度台風第15号に関する検定料免除規程の制定について

事務局から、公立大学法人公立鳥取環境大学令和元年度台風第15号に関する検定料免除規程の制定について報告があった。

<主な意見等>

- ・個別の災害ごとに規程を制定しているのか。また、他にも災害が起きているが、規程の制定はしないのか。

→個別の災害ごとに規程を制定しているが、全ての災害で規程を制定してはならず、文部科学省から要請があったものを制定している。

(9) 令和元年職員の給与等に関する報告・勧告の概要について

事務局から、令和元年職員の給与等に関する報告・勧告の概要について報告があった。

4 閉 会